

科目名	コンサートプロダクト2							年度	2025
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート照明コース 1年次	必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田城佳子	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 コンサートやイベントにおける照明の役割や実際の仕込・オペレーションなどの基礎について理解できるようにします。									
【科目の概要】 ＜コンサート照明コース＞ 簡単な機材セッティング・灯体の取り扱いなど、基礎技術を習得します。									
【到達目標】 ・安全に対する心構えとして、コミュニケーションの必要性を理解する。 ・各種灯体の効果・特徴を理解し、電気回路の基礎を身につける。 ・調光卓の機能、舞台照明の規格の一つであるDMX512規格概要を理解する。 ・舞台照明は一人で出来る作業ではない為、実習を通じて、他人とのコミュニケーションを身につける。									
【授業の注意点】 失敗する事が問題ではなく、分からない事をそのままにしておく事が問題の為、自ら積極的に授業に参加しコミュニケーションも重視する。厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。(遅刻・欠席の場合、授業開始15分前までに必ず教員室に連絡を入れる事。)ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	LED PAR について理解し、設定・安全な仕込・オペレーションができる。		LED PAR について理解し、基本的な設定・仕込ができる。		LED PAR について、仕組みが理解できていない。				
到達目標 B	ミーティングを踏まえ、必要な要素を落とし込みライブに向けた準備をできる。		必要な項目をまとめ、他セクションなどとミーティングを行うことができる。		ミーティングに向けて、どのような準備が必要か理解できていない。				
到達目標 C	ライブ実習において、コース全体をまとめ、本番を運営することができる。		ライブ実習において、自分の担当セクションについて理解し、運営できる。		ライブ実習において、自分がやりることについて理解できていない。				
【教科書】 舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞(日本照明家協会出版)、現場で役立つ舞台関係用語集ステージ・PA・照明用語事典(リットーミュージック)									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *試験は授業内容の理解度を確認するために実施する。 *宿題や見学のレポートなどを真剣に取り組んでいるか、提出状況によって評価する。 *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサートプロダクト 2				年度	2025
英語表記		Concert Product 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	照明仕込み復習 LED PAR仕込み	前期の復習 LED PARの仕込み方理解	1	前期の復習 LED PARの仕込み方理解	LED PARの配線の仕方、DMXチャンネル数の理解 卓での制御の仕方を理解する	2	
2	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しずつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
3	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しずつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
4	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しずつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
5	12月Live本番 に向けて①	12月ライブ実習 仕込みシュミレー ション	1	ライブ実習仕込み 曲の聞き込み Qシートを作成	12月ライブ実習の仕込み(全員にて) 曲を聴いてQシート作成(キックカ出し) 担当部署に分かれて作業をする。協調性の理解	2	
6	12月Live本番 に向けて②	プロダクション MTG	1	ライブ実習仕込み データー打ち込み プロ三	ライブ実習のデーター打ち込み プロダクションMTGにて、出演者に曲の確認等 質問を伝える。コミュニケーション・協調性の 大事さを理解する	2	
7	12月Live本番 に向けて③	全体仕込み 練習	1	他コースとの連携 他コースの仕事を知 る	事前にテクニカルMTGにて、仕込段取りを考える 当日その通りに仕込みを行うが、何か問題があれば、 テクニカルMTGにて検証、問題解決して行く。	2	
8	12月Live 本番 1	他コースとの協調性 コミュニケーション	1	スタッフ同士の 協調性・コミュニ ケーション・時間の管 理	本番は、照明コースだけで行っているわけでは 無いので、他コースとの会話、タイムテーブル に沿って作業を行う、時間管理の必要性を理解	2	
9	12月Live 本番 2	他コースとの協調性 コミュニケーション	1	スタッフ同士の 協調性・コミュニ ケーション・時間の管 理	本番は、照明コースだけで行っているわけでは 無いので、他コースとの会話、タイムテーブル に沿って作業を行う、時間管理の必要性を理解	2	
10	修了Live に向けて①	希望担当決め 照明プラン作成 仕込み図作成	1	仕込み練習 各チーム毎準備	希望部署を決め、仕込み後は各チーム毎に練習 プランチームは、プラン作成をする。セット (道具)がある場合は、道具チームとも打合せ、 協調性・コミュニケーションの必要性を理解	2	
11	修了Live に向けて②	プロダクション MTG	1	ライブ実習仕込み データー打ち込み プロ三	ライブ実習のデーター打ち込み プロダクションMTGにて、出演者に曲の確認等 質問を伝える。コミュニケーション・協調性の 大事さを理解する	2	
12	修了Live に向けて③	チーフMTG	1	ライブ実習仕込み データー打ち込み チーフMTG	各コースチーフが集まり、仕込みの手順・段取 りを決める。1つしかないホールを、各テクニ カルで使うので、お互い何を優先するか話し 合いながら、決めていく。協調性が必要。	2	
13	修了Live に向けて④	全体仕込み練習	1	全テクニカル実習 タイ ムテーブル通り 打 合せ通り、仕込んでみ る	チーフMTGで決めた、仕込み段取り通り出来るか 検証する。 問題があればその都度話し合い変更し、 新たな段 取りが決まる。 協調性とコミュニケーション力が必 要。	2	
14	修了Live 本番 1	本番 1	1	本番実習 安全に仕込 み・本番 撤収作業ま で終える	今まで行ってきた実習の集大成です。技術だけでは無 く、見に来てくれたお客さん、出演者を気遣い なが ら、全スタッフ協力し、1つのライブを成功させる	2	
15	修了Live 本番 2	本番 2	1	本番実習 安全に仕込 み・本番 撤収作業ま で終える	今まで行ってきた実習の集大成です。技術だけでは無 く、見に来てくれたお客さん、出演者を気遣い なが ら、全スタッフ協力し、1つのライブを成功させる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等